

がん検診無料クーポン対象者

健康長寿担当 ☎ 188 ~ 191
 ※クーポンには期限があります。

無料

下記の年齢の人は対象のがん検診の自己負担額が無料になります。対象者には5月末にクーポン券を郵送します。
 ▶子宮頸がん検診：平成13年4月2日～平成14年4月1日生まれの女性
 ▶乳がん検診：昭和56年4月2日～昭和57年4月1日生まれと昭和48年4月2日～昭和49年4月1日生まれの女性

定員
6組

両親学級

病院や産院とは一味違う内容です。
 母子保健担当 ☎ 270 ~ 272

	1日目	2日目	3日目
日程	5/14(土)	6/11(土)	7/9(土)
時間	10:00 ~ 11:30	10:00 ~ 11:30	10:00 ~ 11:30
場所	Web	保健センター 2階 調理室	藤久保公民館 ホール
内容	パバズキッチン 妊娠中・出産後の 栄養管理、調理実習。 妊娠中の過ごし方。	体験してみよう！ 妊婦体験、沐浴実習等。 パパ同士の交流。	絵本ライブ♪ 先輩パパ・ママも 一緒に楽しみましょう。

▶対象：安定期の妊婦とその家族 ▶料金：無料
 ▶申込み：電話・FAX・メールで「①氏名②住所③電話番号④出産予定日⑤初産か経産か」を記入し、母子保健担当まで申し込み。※メールの場合は件名を「両親学級申し込み」に。

無料

はじめての離乳食 (離乳食相談)

母子保健担当 ☎ 270 ~ 272

離乳食の疑問に答えます！お子さんと一緒に参加OK。

▶日時：5/25(水) 9:30・10:00・10:30・11:00
 ▶場所：保健センター2階 調理室 ▶定員：各回2組
 ▶対象：おおむね1歳までのお子さんをもつ保護者
 ▶申込み：電話・メール・FAXで①母の名前、②住所、③電話番号、④子の名前、生年月日、⑤メールアドレスを伝えて母子保健担当へ申し込み。
 ※FAXとメールの場合は件名を「離乳食相談申し込み」に。
 ※感染症の状況によりウェブ開催になることがあります。

定員
8組

はじめて子育て講座「ほっとサークル」

～うめコース～ 令和4年1～2月生まれの子どもと家族が対象

母子保健担当 ☎ 270 ~ 272

赤ちゃんふれあいながら、子育てについて考えてみませんか。
 ▶日程：【①日目】5/24(木)・【②日目】5/31(木)
 ▶対象：令和4年1～2月生まれの子どもと保護者
 ▶時間：10:00 ~ 11:30 ▶場所：藤久保公民館2階 和室
 ▶内容：①ママ同士の交流・三芳町紹介 ②リラックス講座
 ▶持ち物：母子健康手帳、筆記用具、バスタオル、おむつやミルクなど赤ちゃんの使うもの
 ▶申込み：①件名「子育て講座申込み」②ママの氏名③住所④電話番号⑤子どもの氏名⑥子どもの生年月日⑦何番目の子どもかを記入して、電話・FAX・メールで母子保健担当まで申し込み。

(マンモグラフィ検査)

第1回 乳がん検診

検診申込は
5/1 ~ 31
(消印有効)

健康長寿担当 ☎ 188 ~ 191

▶日程：7/29(金)
 AM 9:00/9:30/10:00/10:30/11:00/11:30
 PM 13:00/13:30/14:00/14:30/15:00/15:30

▶対象：40歳以上の女性で、①奇数月生まれ②前年度未受診の偶数月生まれ③無料クーポン該当者のいずれかに該当する人
 ▶場所：保健センター (藤久保7232-1) 町HP
 ▶料金：2,000円 (生活保護世帯は無料)
 ▶定員：130人 (希望多数の場合は抽選)
 ▶申込み：窓口・はがき・FAX・メール・申込みフォームで件名「乳がん検診」①住所、②氏名(ふりがな)、③生年月日、④電話番号(日中連絡可能な番号)を記入し健康長寿担当へ申し込み。

※6月末までに受診券を郵送します。
 ※妊娠中・授乳中・胸壁に人工物が入っている人、乳房の手術後1年以内の人、卒乳後1年以内の人等は、集団検診での乳房撮影はできません。
 ※希望は日にちのみで、時間の指定はできません。
 ※検診日に町外に転出している人は、対象外です。
 ※同一年度に同じ検診を2回受診することはできません。
 ※家族以外の代理申込みはご遠慮ください。

胃内視鏡による胃がん検診

健康長寿担当 ☎ 188 ~ 191

実施医療機関

医療機関名	住所	連絡先
イムス三芳総合病院	藤久保974-3	049-258-2323
富士内科クリニック	藤久保16-15	049-257-0601

※富士見市・ふじみ野市の実施医療機関でも受診可。(ホームページに掲載)

▶実施期間 5/1(日) ~ 10/31(月) 町HP
 ▶対象：50歳以上で、奇数月生まれの人
 ※令和3年度に医療機関等で内視鏡検査を受診した人、除外要件・禁忌要件に該当する人は除く。
 ▶料金：【50歳～64歳】3,000円
 【65歳以上】1,500円 ※令和4年度末での年齢【生活保護受給者】無料
 ▶申込み：二市一町の実施医療機関に直接申し込み。
 検査日は医療機関にお問い合わせください。

※バリウムによる胃がん検診(集団)は、12月に実施予定。
 ※内視鏡とバリウムの両方を受けることは不可。
 ※同一年度に同じ検診を2回受診することは不可。
 ※検診日に町外に転出している人は、対象外。

下記のイベント会場は全て中央図書館
 申込みは中央図書館へ(先着順・電話可)。すべて無料。

無料

としょかん えほんワールド

▶日程：6月5日(日)

えほんの部屋

▶場所：2階視聴覚室
 ▶定員：各20人(先着順)
 ▶時間：①10:15 ~ 10:45
 ②11:00 ~ 11:30
 ▶対象：①1 ~ 3歳向け
 (①は必ず保護者同伴)
 ②3歳 ~ 小学生向け
 ▶申込み：5/10(火) 10:00開始。



自転車紙芝居

▶場所：みらい広場(中央図書館前)
 ▶定員：先着20人
 ▶時間：11:45 ~ 12:10
 ※雨天の場合は場所・定員が変更になります。



図書館だより



中央図書館 ☎ 258-6464
 開館時間 / 10:00 ~ 19:00 (土・日・祝18:00まで)
 休館日 / 毎週月曜日・月末(土・日除く)
 竹間沢分館 ☎ 274-1722
 開館時間 / 11:00 ~ 18:00
 休館日 / 毎週月曜日・月末(土・日除く)
 配本所(中央公民館内) ☎ 258-0050
 開館時間 / 9:00 ~ 22:00
 休館日 / 原則第1月曜日(中央公民館休館日)

※4/21現在、中央図書館・竹間沢分館・配本所は一部利用制限を設けて開館中。
 詳しくは中央図書館にお問い合わせください。

「みどり」の本 別置紹介中



『もりのえほん』

安野光雅 / 絵
 福音館書店
 1981年2月発行
 請求記号 Eも

青々と茂る森の風景を精緻な筆致で描く。絵をよく見ると…木の幹や草むらに、ウサギやブタやパンダなど、130以上の動物たちが上手に隠れている。国際アンデルセン賞画家賞をはじめ、数多くの賞を受賞した著者の絵本。親子や友達と一緒に楽しめる。

みよし 歴史 探訪

文化財保護課 ☎ 258-16655

「夏も近づく八十八夜…」の歌詞で始まる唄をご存じですか。この唄は、春から夏へ変わる五月の初めに茶葉を摘む風景をつづった唄です。

茶葉は、春と夏の二回収穫でき、摘む順番で一番茶、二番茶と呼ばれます。そのなかでも一番茶は初物の意味を込めて新茶と呼ばれます。冬に蓄えた栄養を使い、時間をかけて育つため、旨みと甘みの成分が多く含まれています。三芳町は狭山茶の産地であり、茶の栽培が始まったのは、江戸時代中頃と伝えられています。土が火山灰質で軽く、強風で土が飛ぶのを防ぐため、茶の木を畔や畑の境に植えました。これを畔畔茶と呼び、五月と七月に茶摘みをし、摘んだ茶葉を製茶して売ることがで現金収入を得ていました。「茶は根入りの金」といわれ、五月の一番茶は農作物の肥料代を稼ぐための貴重な収入源でした。
 茶葉は製茶すると、七分の一ほどになるため、大量の茶葉を効率的に摘むために茶切り鋏が使われました。茶切り鋏は静岡県で生まれ、大正時代に実用化された日本独自の道具です。
 『夏も近づく八十八夜…』の歌詞で始まる唄をご存じですか。この唄は、春から夏へ変わる五月の初めに茶葉を摘む風景をつづった唄です。
 茶葉は、春と夏の二回収穫でき、摘む順番で一番茶、二番茶と呼ばれます。そのなかでも一番茶は初物の意味を込めて新茶と呼ばれます。冬に蓄えた栄養を使い、時間をかけて育つため、旨みと甘みの成分が多く含まれています。三芳町は狭山茶の産地であり、茶の栽培が始まったのは、江戸時代中頃と伝えられています。土が火山灰質で軽く、強風で土が飛ぶのを防ぐため、茶の木を畔や畑の境に植えました。これを畔畔茶と呼び、五月と七月に茶摘みをし、摘んだ茶葉を製茶して売ることがで現金収入を得ていました。「茶は根入りの金」といわれ、五月の一番茶は農作物の肥料代を稼ぐための貴重な収入源でした。
 茶葉は製茶すると、七分の一ほどになるため、大量の茶葉を効率的に摘むために茶切り鋏が使われました。茶切り鋏は静岡県で生まれ、大正時代に実用化された日本独自の道具です。
 剪定鋏のような形をしており、左の刃には添え板、右の刃には底のない袋を下げる口金が付いています。使い方は左手で柄を、右手でもう一方の柄と袋の底を挿んで鋏を動かす、茶葉を刈り取りつつ袋に茶葉を入れ、袋が一杯になると袋の底の部分を入れて、カゴに茶葉を入れました。一番茶は、高値で取引されるため、手摘みが主流でした。しかし、戦後に入ってから効率化が重視され、手摘みから茶切り鋏で収穫するようになっていきました。茶切り鋏が普及することにより、茶の木の仕立て方が変化し、後に収穫機器の機械化につながりました。
 三芳町には、自家で栽培・製造加工・販売まで行う狭山茶農家が四軒あります。今年の新茶の時期、三芳町のお茶屋さんを足元運んでみてはいかがでしょうか。



▲茶切り鋏